

外国人の賃貸住宅への入居拒否について

(判例時報 1468 号 122 頁(配布済み)を参照のこと)

(1) 貸主側の主張

法的理由 (判決から)

実質的な理由(具体的な事情から考えてみる - このケースに限定しなくてよい)

(2) 入居拒否を違法とする主張

法的理由(判決から)

違法となる実質的基準(具体的な事情から考えてみる - このケースに限定しなくてよい)

(3) 外国人が賃貸住宅へ入居できるシステム

- ・ 現存する制度、活動など
- ・ 貸主が躊躇なく外国人への賃貸が行えるような仕組み(具体的な内容を考えてみる)

グループごとに、(1)、(2)、(3)についてプレゼンテーション。その内容をもとにレポート作成(レポートには報告後に個人的に調べたものを追加してよい)。

(1)、(2) は簡潔でよい

[提出について]

2月13日(火) 9:00-10:30 114(講義教室)にて

(上記日程外の提出、メールでの提出、本人によらない提出は、正当な理由なき限り認めない)

3000 字以上

- ・ 手書きの場合は、原稿用紙を使用のこと
- ・ パソコンを使用する場合は、A4 で 40 字 × 40 行の書式設定にすること